

長徳寺便り

発行
時宗
不退山長徳寺
住職
渋谷真之

『岩手の民間信仰（まいりのほとけ）』 弘前大学名誉教授による調査

「長徳寺本堂内に聖徳太子像多数発見」 二年間かけて岩手・京都・東京展示へ

去る七月八日、長徳寺本堂内に於いて弘前大学名誉

教授須藤弘敏氏による仏像調査を行った。以前より本



堂内に不明の仏像が数体あり、一関市教育委員会の御協力を得て調査を頂いた。複数の聖徳太子像が発見され、岩手の民間信仰「まいりのほとけ」によるものだろう。「まいりのほとけ」とは、岩手県地方に特徴的な民間

信仰の一つで、旧暦十月の定例日に阿弥陀如来や聖徳太子などの掛図、あるいは聖徳太子像を祀る民家や民間のお堂に、同族縁族者などが集まりお詣りする信仰である。

調査された聖徳太子像のうち、二躯を岩手（岩手県立美術館）・京都（龍谷大学ミュージアム）・東京（東京駅ステーションギャラリー）に於いて二年間かけて展示する予定。

切支丹合同慰霊祭御報告

去る九月十七日、長徳寺境内に於いて切支丹殉教者合同慰霊祭を行った。大籠キリシタン殉教公園開設二十五周年を祈念し当日は慰霊碑除幕式の後、神父や牧師と共に祈り、サンファン館館長を始め多数の参加者と共に手を合わせた。

長徳寺は江戸時代、広範囲の宗門改帳に記載しキリシタンを擁護してきた。また嘉永二年には、切支丹殉教者の慰霊碑も大籠青松に



建立した歴史があり、レプリカが殉教公園にある。

【令和5年 年回忌表】			
一	周	忌	令和 4年 逝去
二	三	回	令和 3年 逝去
三	七	回	平成 29年 逝去
四	十	三	平成 23年 逝去
五	七	回	平成 19年 逝去
六	十	三	平成 13年 逝去
七	二	五	平成 11年 逝去
八	二	七	平成 9年 逝去
九	三	三	平成 3年 逝去
十	三	七	昭和 62年 逝去
十一	四	三	昭和 56年 逝去
十二	四	七	昭和 52年 逝去
十三	五	十	昭和 49年 逝去
十四	五	十	大正 13年 逝去
十五	百	回	忌

長徳寺永代供養墓

- ☑お墓の継承者がいない
- ☑お墓じまいしたい
- ☑親類のお墓で悩んでいる
- ☑多数のお墓を管理できない
- ☑自分の納骨先を考えたい

（御相談下さい）

宗旨宗派不問 管理費不要 永代に寺院継承